

第26回 J I C Fカップ女子オープントラック&ロードレース大会
2025年度 全日本学生TRS第1戦 (伊豆4月ラウンド)
2025年度 全日本学生RCS第1戦 第26回 J I C Fオープンロードレース大会

Communique 1 (競技系) -1
チーフ・コミッセル 森川和之

4月12日(土) トラック競技

1. タイム計測種目の計時

タイム計測種目の計時に電子計時を使用(予定)。各自出走順になったら、速やかにペダル位置を合わせて発走機にセットのこと。

2. バイクチェック

出走前、自転車・ヘルメットを持参して各ラウンド出走15分前までにバイク・インスペクションを受けること。

3. 出場選手の協力義務

競技日程が円滑に進行するよう、次の走者は前のレース終了までには、スタート地点付近にて待機すること。

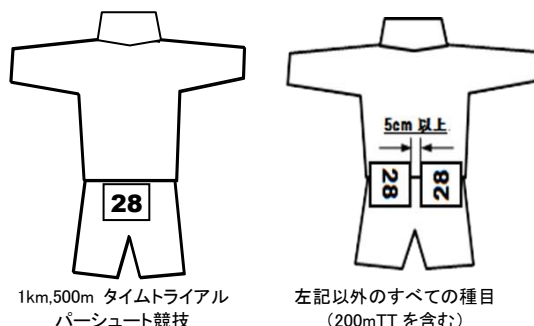
4. ホルダー

発走機を使用しない場合のホルダーはチーム員が行うこと。(200MFTT、ポイントレース)

5. ゼッケンの付け方

ゼッケンをつける際の安全ピン、フレームプレート(ポイントレース)をつける際の結束バンド・テープ等は各自で用意。
ゼッケンの各種目における取付位置は右図のとおり。
乗車した姿勢で、シワがよらない様に装着。

フレームプレートは、フレーム前部中央につけ両側より読み取れること。



6. スタート時認められる事故(正当な落車・パンク・自転車の重要部分の破損)のみ再スタートが認められる。それ以外のペダル外れ、ホイールの片寄り、スリップなどは認められない。

7. その他

レース終了後はバンク走路安全確保のため、速やかに内側に入り次走者の妨げにならないよう注意し競技役員の指示に従うこと。

スタンド側から走路横断を認める。横断の際は左右十分に安全確認を行うこと。但し競技中は横断を禁止する。バック側からの横断も同様とする。

4月13日(日)ロード競技

1. バイクチェック

秀峰亭スタート地点で出走15分前までに競技参加の装備でバイク・インスペクションを受け出走サインを行うこと。ブレーキレバー取付け角度は10度までに制限されますので極端な内向きには注意のこと。

jcf.or.jp/download/rrcx_競技のブレーキレバー取付け角度の制限/?wpdmdl=76190&refresh=661f13e7944e01713312743

2. スタート

クラス3のみ長者ヶ原休憩所手前までローリングスタートとし、先導するMOTTOの合図により正式スタート。女子及びクラス1+2は秀峰亭にてリアルスタート。

3. 共通器材車

ニュートラルサービスは四輪・二輪で行う。

各チームの代輪を共通器材車(四輪)に積載可能。

代輪にチーム名を明記しスタート30分前までに大会本部に持参のこと。

状況により他チーム競技者に使用されることを予め了解のこと。

4. P I T 器材交換・修理

P I Tは補給区間手前右側1か所のみ。自身のチームスタッフから器材交換・修理を認める。器材交換はコース右側で行うこと。

5. 補給について

補給区間は秀峰亭手前の登坂部右側の指定エリアのみ。

女子	5周回完了手前から7周回完了手前まで
クラス1+2	5周回完了手前から19周回完了手前まで
クラス3	5周回完了手前から9周回完了手前まで

注意：2025/1/1からのUCI規則変更により下記の通りになりますので注意のこと

- ・補給区間に入れる人はライセンスホルダーに限る(コーチ、チームアテンダント、審判ライセンス。今大会においては競技者ライセンスでも可とする)
- ・チームを容易に識別する服装を着用すること(学連登録チームジャージや学校名のついた衣服を着用)
- ・路側から1m以内に居ること(路面に線を引く予定です)
- ・IDホルダーに補給許可IDとともにライセンス(Eライセンスの場合はプリントアウト)を入れて常時明示すること

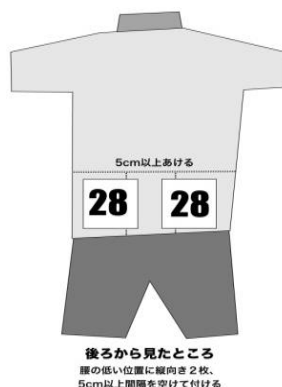
6. 失格・除外

周回遅れまたは周回遅れになるとコミッセルが判断した選手は失格・除外となる。

原則、先頭が1号橋後の登り坂を登り切り池ノ上休憩所を通過時点においてS/F地点に到達していない選手は打ち切りとする。

7. ゼッケン・フレームプレート

ゼッケンは乗車時にシワがよらないよう腰の低い位置に見やすく装着すること。フレームプレートは前三角部分中央に取り付ける事。構造的に付かない場合はサドル下部分に脚で隠れないよう取付を認める。両側より読み取れるようにすること。



以上